

3PLの取組み紹介 第4回ロジセセミナー開く



松田浩社長

ニチレイ・ロジスティクス社は、第4回ロジセセミナーを、11月17日(火)に東京・有明コロシアムで開催した。松田浩社長は、今年度最終年度となる中期経営計画「ライジング2016」に触れ、国内は物流(東横線)と関西圏(大阪線)に大型施設を拡充し、地方は保管と輸送ネットワーク機能の統合を進め、後者は今年4月の九州を境とした新たなことや、勝務した。

知症の治療で3日前まで入院していたこと、しかも直近の大事件に関連して、「あたまの健康をテーマ」とした。

10月28日、JR高崎駅前で暴走運転により、死亡入を含まれた7人の死傷者を出した悲惨な大事故が、運転者が73歳、認知症に問題を抱えていたことが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

2013年に発表され、忘れられることがある。認知症の高齢者の人口は、65歳以上の高齢者の4人に1人が認知症であることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

ニチレイ・ロジスティクス社は、第4回ロジセセミナーを、11月17日(火)に東京・有明コロシアムで開催した。松田浩社長は、今年度最終年度となる中期経営計画「ライジング2016」に触れ、国内は物流(東横線)と関西圏(大阪線)に大型施設を拡充し、地方は保管と輸送ネットワーク機能の統合を進め、後者は今年4月の九州を境とした新たなことや、勝務した。

増収2ケタの増益
鴻池運送の2016年3月期連結中間決算は、売上高1億6,000万円(前年同期比4.1%増)、営業利益57億7,340万円(同12.0%増)、経常利益57億7,900万円(同11.5%増)、純利益3億7,150万円(同13.7%増)。

WMS導入実践講座
12月8日(火)、WMS導入実践講座、WMS開発ベンダー選定の趣意・ベンダーランキングを開く。

国際複合輸送業・その他の上高29.5%増
日本トランスシティは、2016年3月期連結中間決算は、売上高46億3,440万円(前年同期比2.6%増)、営業利益19億8,100万円(同22.5%増)。

減収減益、通期予想を下方修正
宇徳の2016年3月期連結中間決算は、売上高2億4,529万円(前年同期比2.9%減)、営業利益14億7,400万円(同39.4%減)。

上期中で黒字転換
近畿交通共済協同組合(近交共済)は、6日、総務委員会(議井照登委員長)を開き、今年度上半期(1-9月)の収支について協議。共済の黒字転換が実現した。

知症の治療で3日前まで入院していたこと、しかも直近の大事件に関連して、「あたまの健康をテーマ」とした。

2013年に発表され、忘れられることがある。認知症の高齢者の人口は、65歳以上の高齢者の4人に1人が認知症であることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

あたまの健康チェックしませんか

2013年に発表され、忘れられることがある。認知症の高齢者の人口は、65歳以上の高齢者の4人に1人が認知症であることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

ゆるくやさしく健康管理

ゆるくやさしく健康管理。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

ゆるくやさしく健康管理。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

ゆるくやさしく健康管理。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

ゆるくやさしく健康管理。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

ゆるくやさしく健康管理。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

認知症高齢者人口【最新データ】

厚生労働省 国民生活基礎調査(2013年6月1日現在)

認知症高齢者人口	462万人
軽度認知障害 MCI(予備症)	400万人
計	862万人

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

「あたまの健康をテーマ」として、認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

あたまの健康チェックしませんか

あたまの健康チェック。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

あたまの健康チェック。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

あたまの健康チェック。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

あたまの健康チェック。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

あたまの健康チェックしませんか

あたまの健康チェック。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

あたまの健康チェック。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

あたまの健康チェック。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

あたまの健康チェック。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

あたまの健康チェックしませんか

あたまの健康チェック。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

あたまの健康チェック。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

あたまの健康チェック。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。

あたまの健康チェック。認知症の高齢者について、この病状について、道路交通法において運転業務が禁止されているが、その運用面に問題を抱えていることが、このセミナーで明らかになった。